

# 野田 九条通信

2012年8月 80号

「野田・九条の会」事務局

Tel 7122-0502

野田九条の会ホームページ

<http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/>

## 原発やめよ！の17万人の声をねり大きく代々木

### 公園を埋め尽くす！



7月16日（海の日）代々木公園で行われたさよなら原発10万人集会は予想を大きく上回り17万人の人々であふれかえった。野田・九条の会も20人ほど参加し、梅雨の末期の暑さの中、デモ行進では「原発いらない！」と声を張り上げた。今回の集会は、メインのステージ以外にも歌や若ものの元気な討論のステージもあり、高校生のアイドルグループ「制服向上委員会」も痛烈な政府批判を軽快なリズムに乗って歌うステージもあったようだ。今までの組織だった集会やデモの雰囲気と

違い、個人で参加しているらしい人たちも多く、福島原発事故とそれ以来の放射能汚染に対する政府や東電の対応に人々の怒りが集まっているのだと思う。

この動きを止めることなく、さまざまな方法で脱原発を実現したいものです。

#### さあ！今年も

#### 「平和のつどい」のたへんけん

8月18日、19日野田市中央公民館の1階ロビー、講堂、会議室、2階講座室を使い「平和のつどい」が開かれる。（詳しくは別紙チラシ参照）前

広島市長の秋葉忠利さんを広島からお呼びし、核兵器をなくすために、平和市長会を呼び掛け、「国」という考え方ではなく、世界の「市民」と「自治体」が手をつなぎ核兵器廃絶に向かうという秋葉さんのお話を直接聞けると期待が高まっています。この講演に限り開催協力券が必要です。お早めに事務局まで。

そのほかやぎさんとうたおう「平和歌声喫茶」や子どもたちのエイサー、西武台高校生と夏雲の会の朗読劇「ひろしま」と「おきなわ」では若者が

戦争を感じて読む姿が期待されます。そして19日は各地の原発差し止め訴訟で大活躍のベテラン弁護士河合弘之さんの講演と河合さんも交えての「ぶっちゃけトーク」がお勧めです。

チラシには間に合わなかった18日午前の子ども向けDVDは「火垂の墓」、19日の大人向けDVDは「お笑い米軍基地」に決まりました。これらは無料です。開催経費に充てるため、書家の桃太郎さんの書を印刷したクリアファイル素敵にできました。一枚500円で販売中です。そのほか賛同金も募っています。実行委員までお願いします。

#### 政府の原発政策へ「原発ゼロ

#### シナリオ」と意見を出そう！

政府のエネルギー・環境会議は、2030年原発依存0%、15%、20%の3つの選択肢を出し、国民の意見を求めています。8月12日までに所定の用紙でパソコンから、ファックスで意見が出せます。政府のウェブサイトを <http://www.sentakushi.go.jp/> か、事務局にご連絡いただければ、用紙をお渡しできます。

今月の九条の会はお休み。9日（木）4時～愛宕駅にてチラシ配布があります。

7月1日、「東京の九条の会・大交流会」に参加。渡辺治さん(一橋大学名誉教授)の講演を聞いた。歯切れよく力強い話しっぷりに感激。正則高校体育館を会場に、600名を超える参加者は圧倒的に中高年が多かった。

#### I 私たちはいまどこまで来たのか、いまどこにいるのか

– 改憲をとめ、政権交代をもたらした運動の力を確認しよう!

#### A) 軍事大国化、構造改革の強行と矛盾の爆発

① 過去20年、グローバル経済とアメリカの強い圧力の下で軍事大国化と新自由主義・構造改革を進め、大企業の競争力強化をねらい大企業本位の世界をめざした。大企業は儲けたが、地域と社会はボロボロになった。(ネット難民、ワーキングプア、飢餓)

② 2001年<5・3憲法集会実行委員会> 軍事大国化、改憲に反対する運動が新しい形でおこった。政党のイニシアティブで労組の平和運動と無党派市民運動の輪が連携。以後日比谷野音で毎年開催。

③ その土台の上に、04年から九条の会の運動がおこり、その勢いは改憲の世論を変え、民主党の改憲政策も変えた。

④ 構造改革に対する反貧困、社会保障の運動が昂揚し、運動を支えた「連帯・連携・共闘」は、民主党の政策を転換させた。

- 年越派遣村での社会運動と労働運動の連携→反貧困政策へ
- 派遣村抜本改正でのナショナルセンターを超えた連帯→「09マニフェスト」で初めて抜本改正
- 後期高齢者医療制度反対運動での野党共闘→野党4党廃止法案
- 障害者自立支援法違憲裁判→方針転換
- 生活保護の生存権裁判→母子加算復活

#### B) 政権交代が実現

運動が民主党を変え、変わった民主党に国民が期待した。

- 鳩山政権で新自由主義、構造改革政治、日米同盟にブレーキがかかった。
- 後期高齢者医療制度廃止、派遣村抜本改正、障害者自立支援法も運動が入れた。

#### C) 財界、アメリカの猛烈な巻き返しで民主党政権は変質

- 菅政権、構造改革回帰(消費税引き上げ、一体改革、構造改革型復興構想の策定)しかし実行できず。
- 野田政権が誕生し、単に構造改革、日米同盟復帰に止まらず、新段階へ向かっている。

#### D) 民主党政権の変質から何を学ぶか。挫折、変節の3つの原因

- 財界、アメリカの焦りと猛烈な圧力。加えてマスコミのすさまじい同調。
- 財界の猛烈な巻き返しに運動が間に合わなかった。
- 民主党は構造改革の被害是正は望んだが、構造改革政治を止める決意も対案もなかった。大企業から負担をとることを考えつかないし、日米同盟の見直しは考えていない。

#### II 野田政権はなにをやろうとしているのか

1. 構造改革の焦点として「一体改革」に命をかける。–民、自、公大連立で強行突破。

マスコミの議論誘導、「決められる政治」に後押しされて消費税引き上げ10%を明記、「社会保障制度改革推進法案」の採択を強行。憲法25条に基づく社会保障の考え方を根本的に改変。

2. TPP、原発再稼働を強行。

「新成長戦略」のカナメは、原発市場(原子力協定と原発輸出戦略)。その為に日本での再稼働と維持が不可欠。–国民の安全や地域の再建はそっちのけに。

3. 改憲案の大合唱とねらい

- 大連立で舞台が整った。
- 戦後65年できなかった改憲が現実化するチャンス。衆参両院憲法審査会の活動も活発化。
- 9条を改憲して戦争できる自衛隊に。
- 構造改革を強行できる「決定できる政治」体制も整い、自民党案、大阪維新の会案とすり合わせが可能になった。

(野崎 弘子)

次号に続く